

目的

近年、第5世代移動通信サービス（5G）やInternet of Things（IoT）、ワイヤレス電力伝送（WPT）など、電波を利用した新たなサービスが登場しつつあり、今後の技術開発の進展によって更に社会・経済活動を飛躍的に向上させるサービスが創出されることが期待されている。このように、国民生活において電波の利用がより一層拡大するとともに、利用形態が多様化することが見込まれ、人体に対する電波の安全性の確保がますます重要となる。

こうした動向を踏まえ、過去20年間程度の生体電磁環境に関する研究動向等を分析の上、2040年頃までを見据えた、電波の安全性に関する中長期的な研究のあり方について検討を行うため、「生体電磁環境に関する研究戦略検討会」を開催する。

検討事項

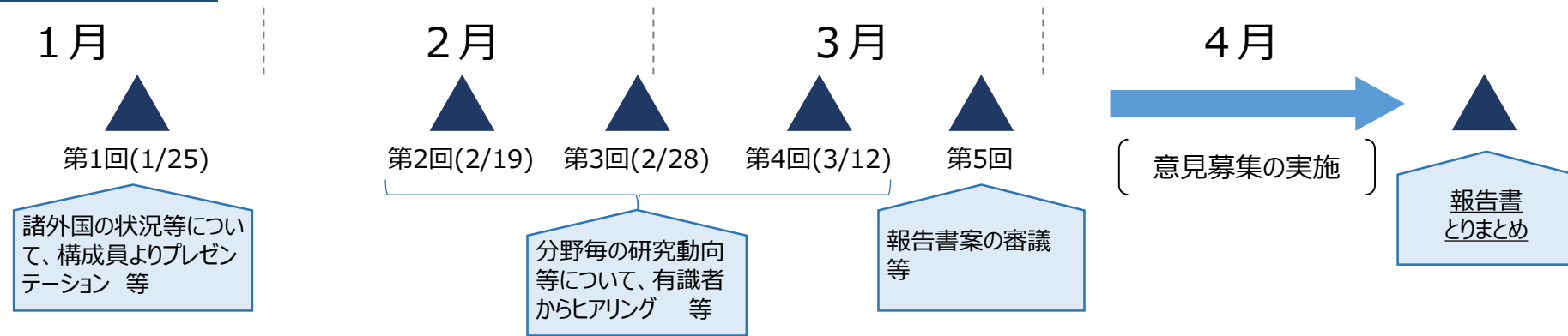
- (1) 生体電磁環境に関する研究動向等の分析
- (2) 生体電磁環境に関する研究の中長期的な戦略やロードマップのあり方
- (3) その他

構成員（敬称略）

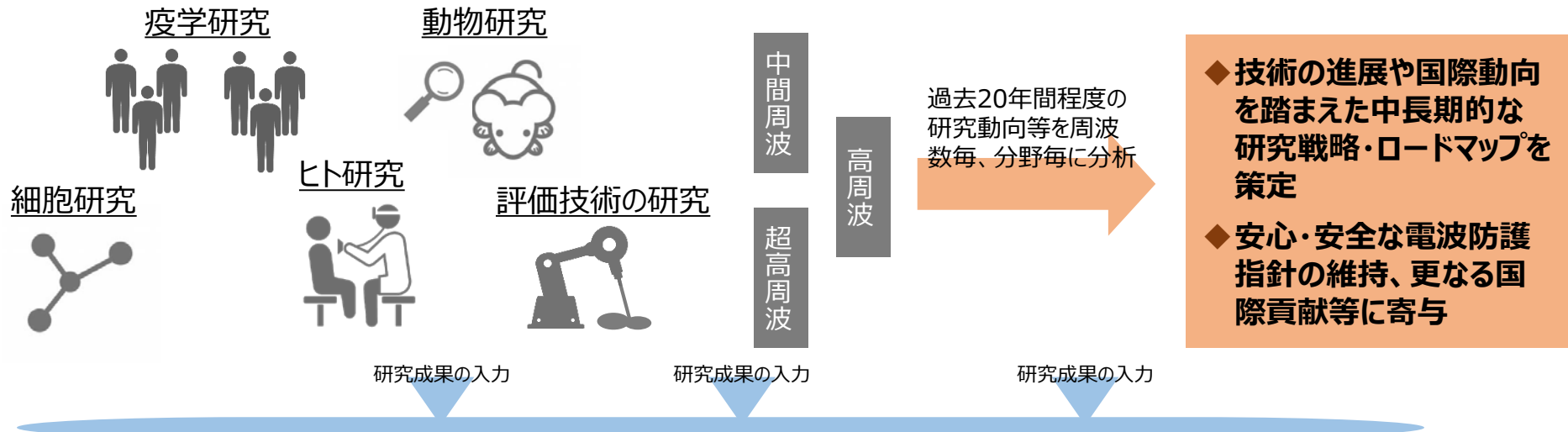
(座長) 上野 照剛	東京大学 名誉教授	(座長代理) 大久保 千代次	一般財団法人電気安全環境研究所 電磁界情報センター所長
今井田 克己	香川大学医学部腫瘍病理学 教授	高口 鉄平	静岡大学 学術院情報学領域 准教授
澤谷 邦男	東北大学 産学連携機構イノベーション戦略推進センター 特任教授	中村 秀治	三菱総合研究所 参与 営業本部長
飛田 恵理子	特定非営利活動法人東京都地域婦人団体連盟理事	廣川 二郎	東京工業大学工学院 教授
藤井 威生	電気通信大学先端ワイヤレス・コミュニケーション研究センター 教授	藤原 修	電気通信大学 産学官連携センター客員教授/ 名古屋工業大学 名誉教授
山根 香織	主婦連合会 参与	渡邊 昌	公益社団法人生命科学振興会 理事長

開催スケジュール及び検討のイメージ

開催のスケジュール



検討のイメージ



これまで生体電磁環境に関する主要な国際機関に研究成果を入力し、国際ガイドラインの改定等において先導的な役割を果たしてきたところ